病児保育協議会

一般社団法人全国病児保育協議会ホームページ https://www.byoujihoiku.net/

第103号

2020年 (令和2年) 9月15日

〔発行人〕 会長 大川洋二 (大川にども&内科クリニック)

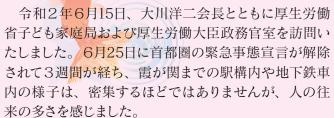
〔発 行〕 一般社団法人 全国病児保育協議会事務局

〒160-8306 東京都新宿区西新宿5-25-11-2F ㈱日本小児医事出版社内 FAX.03-5388-5193

令和2年7月豪雨被災者の方々に心からお見舞い申し上げます

厚労省訪問報告

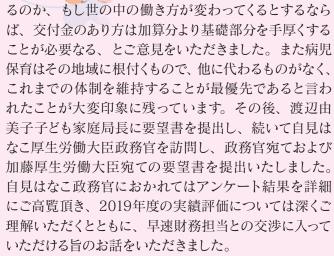
一般社団法人 全国病児保育協議会 副会長 佐藤 里美 さとう小児科医院 病児保育室バンビーノ



今回の訪問目的は、コロナ禍において病児保育が立 たされている窮状をご理解いただき、病児保育の安定 運営のための交付金支給と事業継続のための給付金新 設に関する要望書の提出でした。まず子ども家庭局で 矢田貝保育課長にお会いし、病児保育の現状と運営の 厳しさ、今後の予測、保育をしたくてもできない職員の もどかしさやモチベーションの保ち方など、和やかな 雰囲気で1時間ほど懇談しました。訪問に際しては、杉 野茂人副会長を中心にして行われた「新型コロナウイ ルス感染症の流行に伴う病児保育室運営に関するアン ケート」の中間報告を持参しました。6月2日からこの 日までに寄せられた全国各地からの回答数は387件(6 月30日集計434件)で、利用者数の推移、利用者の 減少に伴う交付金減額の有無や今後の不安、各施設か らの意見や要望など生の声をそのまま見ていただきまし た。保育課長からは、この危機的な状況が新型コロナ ウイルスの影響が大きい今年度、来年度の事なのか、



あるいは利用者の減少や運営 のあり方が恒久的に変わってく



7月10日、この厚労省訪問からひと月足らずで、全国病児保育協議会の要望に応えていただける形で、本年4月から9月における利用実績については、昨年同月の利用者実績数をもとに算定できる主旨の「新型コロナウイルス感染拡大に伴う子ども・子育て支援交付金における病児保育事業の取扱いについて(令和2年度)」の事務連絡が厚生労働省子ども家庭局から出されました。これもひとえに皆様から協議会アンケートにご回答いただいた結果であり、各地域における生の声を厚労省および関係各所に届けられた成果であると思っております。ご協力感謝申し上げます。

新型コロナウイルスによる感染拡大は留まるところを 知らず、まだまだ緊張が続く日々です。今回の要望は9 月までの決定事項であることから、全国病児保育協議 会では引き続き要望を続けていきます。これからも皆様 のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

(今回の要望書の全文および7月10日付け厚労省子ども家庭局の事務連絡につきましては、全国病児保育協議会ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。)



保育所併設型病後児保育室の 新型コロナ対策

洋光台中央福澤保育センター 病後児保育室ひまわり 西倉 美奈

緊急事態宣言発出から保育所の登園自粛要請や休園を経て、現在の病後児保育室は利用者の少ない状況です。保育所併設型病後児保育は、母体となる保育所で行われている新型コロナ対策を基本とします。消毒や換気などの環境整備から職員の体調管理やその記録に至るまで、自治体からの指示もあれば、感染状況の地域差から、周辺の状況を鑑み、自治体と相談して施設独自で対応を考える場合もあります。



施設取り組み事例①

あおぞら病後児保育室さくらんぼ 看護師 **河村 聡子** (神奈川県横浜市)

当保育室は、あおぞら第2保育園に併設した横浜市 の委託施設です。新型コロナウイルス感染症の対応に ついては、利用ニーズに応えたい思いがある一方、熱 や咳等呼吸器症状がある子を受け入れることに対して 不安もありました。利用者、担当職員の安心安全を保 障するために、どのような形の受け入れが最善かと検 討を重ね、横浜市の登園自粛要請がでた4月22日~6 月末まで受け入れ要件を『骨折、ケガ等のみ』という 苦渋の決断をしました。実際、登園自粛に伴い体調を 崩す機会が少ない、また崩したとしても家庭で看ること ができる環境があったためか、利用の問い合わせはほ とんどありませんでした。4~6月の利用者は、例年に 比べ激減しましたが、皮膚疾患、骨折児の利用が1名 ずつあり、利用者からは「色々なことを相談できて子ど もも楽しんでいてよかった」と感謝の言葉をいただきま した。骨折の利用児は、集団生活に戻る前のリハビリ の場にもなり、改めて必要とされている事業だというこ とを感じました。熱、鼻水等での利用希望の問い合わ せも増え、自粛が解除された7月から、受け入れ要件 を戻しました。ただ、3密を防ぐために、定員を4から 2名の縮小は3月から継続しています。今後も利用者、 職員の安心安全と利用ニーズを考慮しながら、一つひ とつ丁寧に対応をしていきたいと思っています。



施設取り組み事例②

ききょう保育園 病後児保育室ひまわり 看護師 坂元 和可子 (東京都町田市)

2020年3月後半より利用者が減少し、4月には保育所等の登園自粛となり、当園も登園自粛の協力を保護者に依頼しました。病後児保育室の受け入れ基準は状況が変わるごとに市と相談しました。更に「病児保育協議会受け入れ基準」を市と共有し、受け入れ条件を変更。体温の目安を38.5℃から37.5℃としました。4月は利用が1名。5月の予約はありましたが利用には至りませんでした。保育園が登園自粛のため、園児、保育者ともに最少人数の保育であり、病後児保育室の体制等、話し合うこともできない日々が続きました。

6月の利用者は9名。定員(4名)については、「日ごとの実際の受け入れ人数については施設の判断により4名以下にすることがあってもやむを得ないと考える」という市の判断を受け、定員2名とし、利用児の分離ができるよう一人に対して職員一人の体制にしました。体温は37.5℃の目安を継続し、保育中は距離を保ち、玩具の共有をしない、食事は別々にとる、常に通気をするなど二次感染防止に配慮しました。現在(7月14日)のところ、二次感染の報告はありません。ケガでの利用問い合わせは、他の子と同室になる可能性があることを伝え、利用するかは保護者に委ねることにしました。父親が利用を心配しているということから実際の利用はありませんでした。耳に入ったのはこの1件でしたが、利用者は1人のほうが安心して利用できるというニーズがあるのではないかと考えています。

7月の利用者は10名(14日現在)。6月同様の体制 および対応です。発熱のない状態の利用ですが、咳の 出ている子は利用しています。保育室内の子ども同士の 接触を極力控えているものの、職員による媒介の危険 や紛れ込んだ罹患者から職員への二次感染の危険は 回避できておらず、今後の課題だと考えています。

第 30 回一般社団法人全国病児保育協議会 代議員総会議事録

書面総会として実施

総会資料・委任状兼議決権行使書送付日:7月17日

締め切り日:8月16日

発送件数:68件 回答件数:68件

I. 開会

議長は定款17条の定めにより会長とする。

II. 定足数確認及び議事録署名人指名

議長の指示により、社員総数 68 名中、会長一任 56 名、代理人一任 1 名、議決権の行使 11 名、計 68 名の書面決議により本会議が定足数を満たし定款第 19 条の規定により成立している。 議事録署名人として、稲見誠氏、横田俊一郎氏が指名された。

Ⅲ. 会長挨拶

新型コロナウイルス感染症 Covid-19 の流行に鑑み、今回は書面にての総会として開催することが 大川会長より宣言された。

IV. 会長報告

- 1、行政関係
- 2、関係者面談
- 3、学会活動
- 4、研修会講演
- 5、著作
- 6、マスコミ対応
- 7、東京大会打ち合わせ

議案書に基づき以上のことが大川会長より書面にて報告された。

V. 審議事項

第1号議案 令和元年度決算報告の承認を求める件及び監査報告

議案書に基づき令和元年度決算報告の承認及び監査報告について書面にて報告され、賛成 68 件、 否認 0 件にて可決された。

第2号議案 令和2年度事業計画及び予算案の承認を求める件

- 1、各委員会事業計画
 - ①資格認定委員会
 - ②研修委員会
 - ③広報委員会
 - ④感染症対策委員会
 - ⑤調査研究委員会
 - ⑥安全対策委員会
 - ⑦機関誌編集委員会
 - ⑧あり方委員会
 - 9保育園型委員会
 - ⑩倫理委員会

議案書に基づき令和2年度事業計画について書面にて報告され、賛成68件、否認0件にて可決 された。

2、令和2年度予算書

議案書に基づき令和2年度予算書について書面にて報告され、賛成68件、否認0件にて可決された。

第3号議案 新理事監事選出の件

本田直子理事、向田隆通理事、福富悌理事を除く現理事と谷本弘子氏、保坂泰介氏、松川武平氏、森博氏が理事候補として推薦され、監事は青木佳之氏、二宮剛美氏が推薦された。

議案書に基づき新理事監事選出について書面にて報告され、賛成68件、否認0件にて可決された。

VI. 報告事項

- 1. 令和元年度事業報告
- (1) 研究大会・理事会・常任理事会
- ①全国病児保育研究大会 令和元年7月14日・15日(岩手)
- ②理事会

令和元年7月13日令和2年3月20日

③常任理事会 令和 2 年 1 月 13 日

- (2) 各委員会事業報告
 - ①資格認定委員会
 - ②研修委員会
 - ③広報委員会

- ④感染症対策委員会
- ⑤調査研究委員会
- 6安全対策委員会
- ⑦機関誌編集委員会
- (8)あり方委員会
- 9保育園型委員会
- ⑩倫理委員会

(3) ブロック・支部活動報告

議案書に基づき各委員会事業報告、ブロック・支部活動報告について書面にて報告された。

2. 理事会報告

- 1. 各委員会委員構成
- 2. 新委員委嘱の件
- 3. 協議会事務局委託・委託費値上げ依頼の件
- 4. 次回全国病児保育研究大会開催の件
- 5. 次々回全国病児保育研究大会開催の件
- 6. 代議員任期の件

議案書に基づき以上のことが書面にて報告された。

3. メール稟議

M1904 病児保育専門士の認定者案

M1905 令和2年度「児童虐待防止推進月間」標語募集への協力依頼 議案書に基づき以上のことが書面にて報告された。

4. 事務局報告

- ① 会員数と会費納入状況(令和2年5月31日現在)
- 1. 会員数(2020年5月31日現在)

施設会員:744施設(内 新入会70件)

個人会員:82名 (内 新入会16名)

退会施設:21 施設

(閉室 10 施設、自己都合 4 施設、業務見直し 3 施設、3 年間未納自動退会 4 施設) 退会個人:15 名(施設会員に変更 5 名、自己都合 7 名、3 年間未納自動退会 3 名)

2. 会費納入状況 (2020年5月31日現在)

施設会費納入 : 726 施設(納入率 97%) 内 43 件から賛助会費の納入があった。 施設会費未納 : 18 施設(内 1 年未納:10 件、2 年未納:6 件、3 年未納:2 件)

個人会費納入 : 65 名 (納入率 79%)

個人会費未納 : 17名(内1年未納:9名、2年未納:4名、3年未納:4名)

②物品販売 物品販売 (2019.6.1~2020.5.31)

書名	販売数		売上金額
必携病児保育マニュアルVol.1	139	m	605,120
(内訳) Amazon	100	m	
事務局	36	m	
岩手大会	3	m	
必携病児保育マニュアルVol.2	190	m	803,200
(内訳)Amazon	102	m	
事務局	60	m	
岩手大会	6	m	
資格認定員会 (@3240)	22	m	
機関誌「病児保育研究」	68	m	87,252
(内訳)非会員	30	m	
会員	38	m	
事例から考える安全対策ハンドブック	269	₩	365,060
(内訳) 非会員	85	m	
会員	98	m	
岩手大会	86		
感染症ガイドライン	72	m	78,440
(内訳)事務局	43	m	
岩手大会	29	m	
基礎研修テキスト	175	m	189,640
(内訳)事務局	72	m	
岩手大会	103	m	
事故防止ガイドライン	57	m	62,180
(内訳)事務局	38	m	
岩手大会	19	m	
病児病後児保育における保育士・看護			00.000
師のためのハンドブック	92	m m	
(内訳) 事務局	82		
岩手大会	10		
10年のあゆみ	3	M	5,328
その他	_		
協議会加盟施設プレート再発行	2	個	
計			2,291,360

議案書に基づき会員数と会費納入状況、物品販売について書面にて報告された。

VII. 閉会挨拶

以上をもって、今回の議事を終了した。上記決議を明確にするため、本議事録を作成し、 定款第21条のとおり会長及び議事録署名人が次に記名押印する。

令和2年8月17日

議事録署名人:

議事録署名人: 横田 俊一郎

予算対比正味財産増減計算書

令和 1年 6月 1日から令和 2年 5月31日まで

(単位:円)

	(単位:円)						
科 目	予算額	決算額	差 異	執行率			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取会費	17, 100, 000	19, 269, 550	△ 2, 169, 550	112.6%			
入会金	600, 000	748, 550	△ 148, 550	124. 8%			
年会費	16, 000, 000	18, 008, 000	△ 2,008,000	112. 6%			
賛助会費	500, 000	513, 000	△ 13, 000	102. 6%			
事業収益	26, 200, 000	22, 215, 103	3, 984, 897	84. 8%			
書籍販売等	3, 000, 000	2, 341, 238	658, 762	78.0%			
広告収入	400.000	60, 000	340, 000	15. 0%			
資格認定収入	2, 800, 000	2, 838, 260	△ 38, 260	101.4%			
全国研究大会	20, 000, 000	16, 975, 605	3, 024, 395	84. 9%			
その他収益	10, 500	100, 218	△ 89, 718	954.5%			
寄付金	10, 300	100, 210	△ 100, 000	304.0/0			
奇り並 受取利息	500	218	282	43.6%			
X	10, 000	0	10, 000	0.0%			
経常収益計	43, 310, 500	41, 584, 871	1, 725, 629	96.0%			
	43, 310, 300	41, 304, 071	1, 725, 029	90.0%			
(2) 経常費用	07 OF1 OOO	05 001 010	1 050 000	92. 8%			
事業費	27, 051, 000	25, 091, 912	1, 959, 088	, ,			
全国研究大会	20, 000, 000	20, 006, 675	△ 6, 675	100.0%			
研修委員会	470, 000	348, 404	121, 596	74. 1%			
広報委員会	630, 000	359, 894	270, 106	57. 1%			
機関誌編集委員会	100, 000	0	100, 000	0.0%			
調査研究委員会	180, 000	21, 100	158, 900	11. 7%			
感染症対策委員会	215, 000	234, 875	△ 19, 875	109. 2%			
資格認定委員会	4, 450, 000	3, 376, 531	1, 073, 469	75. 9%			
倫理委員会	160, 000	151, 432	8, 568	94. 6%			
あり方委員会	100, 000	0	100, 000	0.0%			
保育園型委員会	258, 000	154, 525	103, 475	59. 9%			
安全対策委員会	488, 000	438, 476	49, 524	89. 9%			
管理費	14, 968, 000	13, 286, 011	1, 681, 989	88. 8%			
印刷費	5, 000, 000	3, 868, 871	1, 131, 129	77. 4%			
減価償却費	0	83, 916	△ 83, 916	-			
旅費交通費	1, 800, 000	824, 248	975, 752	45.8%			
通信費	500, 000	546, 462	△ 46, 462	109.3%			
消耗品費	50, 000	7, 203	42, 797	14. 4%			
租税公課	300, 000	70, 250	229, 750	23. 4%			
事務用品費	350, 000	334, 278	15, 722	95. 5%			
支払手数料	2, 300, 000	3, 727, 036	△ 1, 427, 036	162.0%			
事務局外部委託費	2, 268, 000	2, 311, 400	△ 43, 400	101.9%			
会議費	100, 000	75, 822	24, 178	75.8%			
インシデント管理システム運用支援	800, 000	473, 000	327, 000	59.1%			
支部研修会補助金	1, 500, 000	956, 525	543, 475	63.8%			
雑費	0	7, 000	△ 7,000	_			
予備費	1, 000, 000	0	1, 000, 000	0.0%			
経常費用計	43, 019, 000	38, 377, 923	4, 641, 077	89. 2%			
当期経常増減額	291, 500	3, 206, 948	△ 2, 915, 448				
2. 経常外増減の部	·						
(1) 経常外収益							
期末商品棚卸	5, 000, 000	3, 297, 611	1, 702, 389	66.0%			
経常外収益計	5, 000, 000	3, 297, 611	1, 702, 389	66.0%			
(2) 経常外費用	, ,	, ,	, ,	,-			
期首商品棚卸	5, 469, 905	5, 469, 905	0	100.0%			
経常外費用計	5, 469, 905	5, 469, 905	0	100.0%			
当期経常外増減額	△ 469, 905	△ 2, 172, 294	1, 702, 389	462. 3%			
税引前当期一般正味財産増減額	△ 178, 405	1, 034, 654	△ 1, 213, 059	-579.9%			
法人税・住民税及び事業税	500, 000	70.000	430, 000				
当期一般正味財産増減額	△ 678, 405	964, 654	△ 1, 643, 059	-142. 2%			
一般正味財産期首残高	21, 129, 957	21, 129, 957	0	100.0%			
一般正味財産期末残高	20, 451, 552	22, 094, 611	△ 1, 643, 059	108.0%			
Ⅱ 指定正味財産増減の部	20, 401, 002	22,007,011	<u> </u>	100.0/0			
当時に正味財産増減額 当期指定正味財産増減額	0	0	0	_			
ヨ朔相た正味別度培/収録 基金期首残高	13, 028, 987	13, 028, 987	0	100.0%			
基金期末残高	13, 028, 987	13, 028, 987	0	100.0%			
	33, 480, 539						
Ⅲ 正味財産期末残高	JJ, 480, 539	35, 123, 598	△ 1, 643, 059	104. 9%			

監査報告書

令和2年6月/8日

一般社団法人全国病児保育協議会

監事





一般社団法人全国病児保育協議会

墨二富剛美



一般社団法人全国病児保育協議会会長 大川 洋二 様

私たち監事は、当法人の定款第25条により 令和元年6月1日より令和2年5月31日までの事業年度の理事職務の執行と、業務及び財産の状況について監査を行いました。その方法と結果について以下の通り報告いたします。

1 監査の方法および内容

重要な会議である理事会・常任理事会に出席し、通信文を閲覧し、事務局委託業務・会計委託業務に関して理事及び関係者に説明を求めました。

また決裁書類等を閲覧し、事務局受託者である日本小児医事出版社において業務及び財産の状況について調査しました。会計業務を委託している日本小児医事出版社より計算関係書類等【貸借対照表、正味財産増減計算書】及びこれらの付属明細書並びに財産目録について過誤のない報告を受けました。

なお、決算報告書については、望月会計事務所において総勘定元帳と確認済みです。

2 監査の結果

(1) 事業報告書等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (2) 計算関係書類等の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益(正味財産増減)の状況を、適正に表示しているものと認めます。

以上

一般社団 全国病児保育協議会 役員名簿

人口 . 正分	r h	3° B	#r =⊓.
役 職	氏 名	所 属	施設名
会長	大川洋二	東京	大川こども&内科クリニック OCFC病児保育室うさぎのママ
副 会 長	杉野 茂人	熊本	杉野クリニック みるく病児保育センター フェアル カル
	髙橋 広美	東京	砂原保育園病後児保育室「とまと」
- W	佐藤 里美	千 葉	さとう小児科医院 病児保育室バンビーノ
名 誉 会 長	保坂 智子	大阪	保坂小児科クリニック 枚方病児保育室
	帆足 英一	東京	一般社団法人親と子どもの臨床支援センター
監事	青木 佳之	岡山	青木内科小児科医院内 山陽ちびっこ療育園
	二宮 剛美	三重	二宮メディカルクリニック 四日市病児保育室カンガルーム
感染症対策委員長	佐藤 勇	新潟	よいこの小児科さとう 病児保育室よいこのもり
広報委員長	藤本保	大 分	大分こども病院 キッズケアルーム
調査研究委員長	荒井 宏治	青森	あらいこどもクリニック/眼科クリニック 病児保育きりん
安全対策委員長	米倉 順孝	福岡	福岡中央病児デイケア ベビートットセンター
機関誌編集委員長	羽根 靖之	三重	医)童心会 よいこ病児保育室
資格認定委員長	永野 和子	熊本	みるく病児保育センター
研修委員長	横井 透	石川	横井小児科内科医院病児保育室 こりすの里
倫理委員長	木野 稔	大 阪	中野こども病院 アリス病児保育室
保育園型委員長	西倉 美奈	神奈川	洋光台中央福澤保育センター 病後児保育室ひまわり
あり方委員長	稲見 誠	東京	いなみ小児科 病児保育室ハグルーム
	荒井 宏治	青 森	あらいこどもクリニック/眼科クリニック 病児保育きりん
	稲見 誠	東京	いなみ小児科 病児保育室ハグルーム
	大川 洋二	東京	大川こども&内科クリニック OCFC病児保育室うさぎのママ
	川崎 康寛	大 阪	川崎こどもクリニック 病児保育室リトルスター
	木野 稔	大 阪	中野こども病院 アリス病児保育室
	佐藤 勇	新潟	よいこの小児科さとう 病児保育室よいこのもり
	佐藤 里美	千 葉	さとう小児科医院 病児保育室バンビーノ
	杉野 茂人	熊本	杉野クリニック みるく病児保育センター
	髙橋 広美	東京	砂原保育園 病後児保育室「とまと」
	谷村 聡	山口	医療法人たにむら小児科 病後児保育園タムタム
	谷本 弘子	鳥 取	谷本こどもクリニック 病児看護センターベアーズデイサービス
	永野 和子	熊本	みるく病児保育センター
	西岡 敦子	香川	西岡医院 病児保育室レインボーキッズ
	西倉 美奈	神奈川	洋光台中央福澤保育センター 病後児保育室ひまわり
理事	羽根 靖之	三重	医) 童心会 よいこ病児保育室
	原木 真名	千 葉	まなこどもクリニック ポピンズルーム
	藤本 保	大 分	大分こども病院 キッズケアルーム
	帆足 暁子	東京	一般社団法人 親と子どもの臨床支援センター
	保坂 篤人	東京	保坂こどもクリニック 保坂病児保育ルーム
	保坂 泰介	大 阪	医療法人 保坂小児クリニック / 枚方病児保育室くるみ
	松川 武平	愛知	医療法人松川クリニック 病児保育室プチポケット
	松田 幸久	鹿児島	まつだこどもクリニック病児保育室「森のくまさんの家」
	宮崎 豊	東京	玉川大学 教育学部 乳幼児発達学科
	宮本 直彦	山梨	げんきキッズクリニック病児保育室ドリーム
	森博	神奈川	あおぞら第2保育園
	横井 透	石川	横井小児科内科医院 こりすの里
	横田俊一郎	神奈川	横田小児科医院 病児保育室JAMBO!
	吉田 雄司	福岡	よしだ小児科医院 病児保育室りんご
	米倉 順孝	福岡	福岡中央病児デイケア ベビートットセンター

全国病児保育協議会 委員会構成 (令和2年9月1日現在)

常任理事会	荒井	宏治	稲見	誠	大川	洋二	木野	稔	佐藤	勇	佐藤	里美
	杉野	茂人	髙橋	広美	永野	和子	西倉	美奈	羽根	靖之	藤本	保
	横井	透	米倉	順孝								
	委員長 佐藤 勇											
感染症対策委員会	荒井	宏治	大川	洋二	川崎	康寬	黒木	春郎	佐藤	勇	佐藤	里美
	帆足	英一	松田	幸久	八木	信一						
	委員長 藤本 保											
広報委員会	杉浦	順美	杉野	茂人	永野	和子	野原	尚恵	藤本	保	松田	幸久
	三村	美香										
		委員長 荒井 宏治										
調査研究委員会	荒井	宏治	佐藤	勇武	杉野	茂人	西岡	敦子	原田	佳明	保坂	篤人
	吉田	雄司										
党人 社等系具人					委员	員長 →	米倉 川	頁孝				
安全対策委員会	伊藤	康弘	杉野	茂人	谷村	聡	保坂	泰介	吉岡	敦志	米倉	順孝
機関誌編集委員会	委員長 羽根 靖之											
	稲見	誠	大川	洋二	木野	稔	佐藤	里美	佐藤	貴志	羽根	靖之
	原木	真名	藤本	保	松川	武平	松田	幸久	宮﨑	豊	横井	透
	横田億											
	委員長 永野 和子											
資格認定委員会	稲見	誠	大川	洋二	木下	博子	佐藤	里美	多田村	寸早苗	永野	和子
	羽根	靖之	原木	真名	堀込	聖子	宮﨑	豊				
	委員長 横井 透											
研修委員会	今井	七重	佐久	章	佐藤	勇	佐藤	里美	原	文子	福富	悌
	藤巻	元美	帆足	暁子	宮本	知子	森田	勝美	横井	透		
	委員長 木野 稔											
倫理委員会	稲見	誠	大川	洋二	木野	稔	坂井日	日大洋	佐藤	里美	鈴木芽	英太郎
	髙橋	広美	藤本	保	横田億							
保育園型委員会		委員長 西倉 美奈										
	井﨑	和夫	沖田	久美子	川中	清子	坂元和	和可子	桜井。	ますみ	鈴木	典子
	髙橋	広美	西倉	美奈	原	文子	本田	直子	森	博	山田	静子
あり方委員会					委	員長 利		誠				
	稲見	誠	大川	洋二	木野	稔	藤本	保	帆足	英一		
											(50 -	· 나타 /

(50 音順)



COVID-19流行下の病児保育運営に関するアンケート協力のお礼

全国病児保育協議会 会長 大川 洋二アンケート担当 副会長 杉野 茂人

2020年6月2日より実施しておりましたCOVID-19流行下の病児保育運営に関するアンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。2020年6月30日までに434件の施設よりご回答をいただき、厚生労働省にアンケート調査を報告、病児保育運営に関する要望書を提出いたしました。

その結果2020年度の交付金は2019年度実績に準拠することになりました。 皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

編集後記

今号は、巻頭には皆様にご協力いただいた新型コロナウイルス対応下の病児保育運営状況アンケートに基づく要望書を携えての厚生労働省訪問の報告を、続いて保育園型委員会のとりまとめによる病後児保育室での新型コロナ感染防止の状況報告を掲載しました。

感染対策を講じて日々の保育看護に向き合って参りま しょう。 (M・M)

協議会ニュースに関するお問い合わせ先

一般社団法人 全国病児保育協議会 広報委員会

担当:藤本保

〒870-0943 大分市大字片島83-7 大分こども病院 FAX.097-568-2970 E-mail:byouji@oita-kodomo.jp

